

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長：レイ・クリンギンスミス/ガバナー：西川 武重郎

会長：蔭山好信 / 幹事：稲垣功一

：例会日：木曜日

クラブ会報委員会

：午後 12:30開会

委員長：境野 登章

：会 場：ベルヴィアイトピア

副委員長：大谷浩一 / 古沢勇治

2009-2010 国際ロータリーテーマ
「地域を育み、大陸をつなぐ」



第2166回 第一回 例会 (2010年7月1日)

- ☆ 点鐘
- ☆ 国歌斉唱 君が代
- ☆ ロータリーソング斉唱 第1週 奉仕の理想
- ☆ 四つのテスト唱和
- ☆ 会長報告 蔭山好信会長
- ☆ 理事役員就任式
- ☆ 結婚誕生祝い
- ☆ 幹事報告 稲垣功一幹事
- ☆ 出席・スマイル報告
- ☆ 点鐘
- ☆ クラブ協議会 蔭山好信会長



★ 会長報告 蔭山好信会長

2010～2011年度、会長を仰せつかりました。
皆様、どうぞよろしくお願ひ致します。



★ 理事役員就任式



★ 結婚誕生祝い

結婚・誕生記念者を代表して、福島会員にご挨拶をお願い致します。

結婚して、今年で10年になりました。家内の顔の表情からして、何かあげなくてはと思っております。

10年もったと言う事で、長生きしていきたいと思ひます。本日は、ありがとうございました。





皆様こんにちは。蔭山年度の幹事を仰せつかりました稲垣です。
1年間明るく元気に務めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
皆様のご協力によりまして素晴らしい年度計画書ができ本日お配りして
おります。本年度の指針としてご利用していただければと思います。
尚 大谷会員には大変お世話になりありがとうございました。
本日理事会が開かれましたのでご報告いたします。

- 1)8月のプログラムが承認されました。メール、FAX等で皆様にご連絡いたします。
- 2)会費徴収時期の件。 前期が7月8日で、後期が1月13日に決まりました。よろしくお願いいたします。

- 3)理事会開催日の件。 毎月第一例会日の午前11時よりになりました。
- 4)炉辺会合とメーキャップの件。 クラブ内すべての委員会、炉辺会合出席は、出席委員長、幹事に報告、連絡してください。例会出席扱いになります。
- 5)地球温暖化ストップ・チームマイナス6%削減の件。 本年度も28℃でいきたいと思ひます。
- 6)組織図一部変更の件。 お手元の資料ご覧下さい
- 7)新入会員推薦の件。 4名の推薦がありました。審議し分類・会員選考委員会に付託しております。
- 8)桑名市の石取祭り見学の件。 参加案内を出す事となりました。以上、理事会の報告事項です。

本日は、これから第60回社会を明るくする運動「行田地区大会」に小林副会長他7名出席して参ります。
(例会開催時間と重なるため、途中退席)

地区ガバナ-事務所より、交換学生の募集についてと平成22年度高校生社会体験活動への協力をお願いの案内がきております。詳しくは、事務局又は、担当委員長さんにお尋ねください。ご協力お願いいたします。
例会の出欠の案内、方法が変わりました。案内に出欠、食事欄がありますから、1ヶ月分御記入の上返信ください。
よろしくお願いいたします。以上、幹事報告でした。

★ 出席・スマイル報告

★ 出席状況報告

鴨田武委員長

T	・正会員数	54名
A	・85年規定承認者	11名
A	・理事会欠席承認者	1名
P	・本日の出席者	42名
B	・各承認者の例会出席者	7名
MU	・本日のメーキャップ者	0名
	本日の出席率	85.7%



● 蔭山会長	1年間よろしくお願ひします。
● 蔭山会長	山本会員の手術成功願って
● 稲垣幹事	本年度幹事として一年お世話になります、よろしくお願ひします。
● 小林副会長	蔭山会長、稲垣幹事の船出祝して、一年間お世話になります。
● 冨田会員	昨年度お蔭様で無事終了できました、本当にありがとうございました。
● 持田会員	蔭山会長、稲垣幹事の船出祝して。
● 横田会員	結婚祝い有難うございます。今年一年間理事として頑張ります。
● 湯本会員	誕生祝い有難うございます。
● 小川会員	今月から全国安全週間職場で地域社会で車運転、火の扱いに注意しましょう。
● 山本会員	蔭山、稲垣年度の船出おめでとうございませう。お体に留意してください。
● 以下同文	冨田会員、武田会員、小山会員、永島会員、黒淵会員、福島会員、大野会員、内山会員
	齊藤会員、阿部会員、古沢会員、坂本会員、小菅会員、石塚会員、武井会員、小沢会員
	中島会員、山田会員、小川会員、宮内会員、湯本会員、小池利昌会員、清水義夫会員
	大谷会員、境野会員、坂田会員、橋本会員、岡田会員、清水治雄会員、島崎会員
● 本日のニコニコ	156,000円 頂きました。ありがとうございました。(順不同にて報告しました。)

★ 点鐘

★ クラブ協議会

蔭山好信会長



私が小学生の時に教わった事の中で、未だに記憶している「アキレスと亀」という話があります。当時、とても変な話なのにどうしてもその変な点が解決できず、確か当時の小宮教頭先生の話だったと思いますが、子供心に狐につままれた様な印象だった事が、未だに記憶している所以かもしれません。どんな話かと言うと、ご存知の方も多々いるかと思われませうがアキレスというのはギリシャ神話の中に出てくる最も足の速い神様で、亀はもちろん地上で一番歩みの遅い動物とされています。この歩みの遅い亀が先にスタートすると、アキレスは絶対に抜けないという話です。例えば100mの距離を競争すると、亀が50mに達した時点でアキレスがスタートすると、アキレスが50mに達した時点では亀は更に進んでおり、その地点にアキレスが達した時には、更に亀は進んでいるので永遠に亀をアキレスは抜けないと言う事になると言うもの

です。そんな謎めいた話ですが、後になって判ったのはこの話はソクラテス以前の古代ギリシャ哲学者である「エノアのゼノン」の提示した運動に関する4大パラドックスのうち、もっとも有名な話で当時「0」という概念が無く、有理数のみであったために、数学的に解決できなかった話で、加速度という概念を用いれば簡単に解決できる問題であります。しかしながら古代ギリシャ哲学者が寄ってたかって解けなかった問題を、その時小学生であった自分に解けるはずはなく、これが世の中には判らない事があっても仕方の無いと言う事を教えようとした教育の一環なのか、それとも教頭先生にからかわれたのか、この点は私の中で未だに解決できていない疑問であります。前置きに時間を割き過ぎた感もありますが、貴重な時間を借りて何故このような話をしたかと言うと、ややもすると「先行する人は抜けない」と誤解している人に時々出会うためです。一般社会においても多々このような人を見かけませうが、ロータリーでも「ロータリーに先に入った人は、ロータリーの勉強をしているから、その知識が豊富で自分が後から勉強しても、その時には更に勉強して先に進んでいるから、追いつけない」と考えている人が結構見受けられます。～次のページへ続く～

～前のページより続き～

しかしそれが誤りである事は、先の「アキレスと亀」の話を待つまでも無く、努力と言うものによって加速度的に進歩し、先行する者も油断と言う事によって、簡単に抜かれるということは各界において実証済みの事で、古代ギリシャの寓話を集めたというイソップの「ウサギと亀」の話も示唆しているところです。そこで今年度は特殊な委員会は除きますが、各委員会の委員長には比較的加入年数の少ない会員に就任してもらい、委員長という役割を通してロータリーの実践を学びそして親しんでもらおうと考えております。委員長には地区にも積極的に出かけてもらい、地区の雰囲気と接すると共にロータリーの何たるか等についての理解を深めてもらいたく、むしろ会長は地区の会合に出席しない方針で行くつもりです。とは言えそれだけでは各委員長は大変ですし、不安もあると思われまますので、パスト会長に副委員長として比較的若い委員長を補佐してもらって、委員会の活動を充実させようと考えております。副委員長の役割は、重要且つ大変ですが、是非ともよろしく願いいたします。ちなみに会運営の基本は、会長の方針を概括的に各委員会に伝え各委員会内において当該方針を検討し、これを昇華させて、各委員会が独自性を持った活動を行うべきである事、そして会長としては、その委員会方針が会長方針や理事会の決定にでも反しない限り、最大限に尊重いたします。また私がロータリーに入れてもらった際、先輩諸兄から「ワン・イヤー・ルール」というものを教わりました。「ワン・イヤー・ルール」とは、「当該年度の会長が企画する事業は、長期計画に基づくものは別として、当該年度内に終了し、原則として継続事業としない。」というものです。この「ワン・イヤー・ルール」の根拠が何処にあるかと言いますと、ロータリー手帳の別冊の「ロータリー関連資料」に掲載されている決議23-34「社会奉仕に関する1923年の声明」の4)にあると私は理解しております。

ここには「ロータリークラブの団体的行動は次のような条件の下に行うよう勧められている。いずれのロータリークラブも、毎年度、何か一つの主だった社会奉仕活動を、それもなるべく毎年度異なっていて、できればその会計年度内に完了できるようなものを後援する事が望ましい。」と記載され、この決議によれば、継続事業が例外であり単年度事業が原則となっております。会長が継続事業を踏襲しなければならないとすると、継続事業が徐々に増えて行き、継続事業だけで当該年度の事業は一杯になり、やがては継続事業をこなすだけできゅうきゅうとし、当該年度の会長が希望する事業など到底行えない事態を招来することとなってしまいます。私は、行田ロータリークラブがこれまで継続してきた事業はいずれも素晴らしい成果を上げており、先輩各位の慧眼や尽力に尊敬の念を禁じえないところでは有りますが、今年度はワン・イヤー・ルールに則り、また社会情勢を踏まえて、いくつかの継続事業を中断させていただきます。

中断する事業のうち主なものとしては、白河との児童交流会及び小学生芸術劇場です。小・中学生の学力低下が問題視されていることはご存知のことと思われまますが、その原因となった「ゆとり教育」を全国的に見直すべく、本年4月から小学生・中学生の授業時間数が増加し、来年4月には更なる増加が確実視されております。そのため授業時間を用いた事業を開催いたしますと、当該事業に費やした授業時間分の補填をしなければならず、そのためには参加した児童の夏季休暇や冬季・春季休暇を短縮せざるを得ない事となり、結果として児童及びその家族にも負担を強いることとなりますので、私としてはかような負担を掛けることは避けたいと考え、両事業の中断を決意した次第です。しかしながらいわゆる継続事業というもののうち、今年度も実施したいと考えているものがありますが、それは継続事業と捉えるのではなく、単年度において会長が事業として実施することに価値を見出したものと理解しております。会内的には以上の2つが大きな方向性ですが、対外的には、本年度のテーマである「地域を育み、大陸をつなぐ」に添った事業を展開したいと考えております

。「地域を育み」という点に関しては、幸い当市には「のぼりの城」の映画化と言う、殆どの市民が注目している題材があり、この映画の制作費用や宣伝費用について、当クラブは「書損じ葉書の回収、1円玉募金」等の活動を通じて、協力する事と致します。何処までいくらまで集められるかは不明ですが、集める努力もさることながら、行田市民が地域に関係する住民が、この事業に参加する1人としての意識を持つ事も重要な事であると考えております。また行田市の祭りである「時代祭り」と「火祭り」にゴミ箱を提供し、ゴミ回収に協力して祭りから生じるゴミが郷土を汚す事の無いよう当クラブとしても協力してゆく所存であります。「大陸をつなぐ」と言うテーマに沿うかどうかは判りませんが、当クラブ単体で台湾の城中ロータリークラブとの親交を深めるだけではなく、当クラブの姉妹クラブである白河ロータリークラブ、桑名北ロータリークラブも交えた合同例会を何とか開催し、より姉妹クラブ間の絆を深めて行きたいと考えております。ところで、ワン・イヤー・ルールを精神を強調して参りましたが、会員増強だけは別物と考えております。ロータリークラブに相応しい友人には是非とも当クラブに入会してもらおうべきであり、単年度において勧誘するだけではなく、数年に亘って継続的に勧誘し続けることにより、よりロータリークラブや当クラブに対する理解を深めてもらい、会を実現させたいところでもあります。そのためには昨年度の会員増強委員会の情報や力をお借りし、更には今年度に入会を果たしえなかつた会員候補者がいれば、次年度にその情報を提供すると共に積極的に協力して、当該候補者を粘り強く勧誘し、会員増強の実を挙げてゆきたいと考えております。以上が今年度の方針の概要でありますので、1年間宜しくご協力願います。